

1. 計画策定趣旨

＜計画期間＞

平成25年度から平成29年度までの5年間

◆地域の中核病院として医療制度改革をはじめ、急激に変化する医療環境に適切に対応し、質の高い医療を提供するとともに、安定した経営を行うため、平成25年度以降の病院運営の基本となる計画を定めます。

＜計画の基本目標＞

～地域に開かれた、
急性期中核病院として、
高度で良質な医療を提供します～

2. 当院をめぐる現状と課題

●少子高齢化、豊能二次医療圏の現状、医療政策の動向

- ▶10年後（平成33年度）の人口は、豊能二次医療圏で約3%、豊中市で約4%の減少見込み。同年の0歳～14歳の人口は、豊能二次医療圏で約20%、豊中市で約18%の減少見込み。一方、65歳以上の人口は、豊能二次医療圏で約20%、豊中市で約14%の増加見込み。
- ▶社会保障・税一体改革大綱は、「病院・病床機能の分化・強化」「在宅医療の推進」「医師確保対策」「チーム医療推進」の推進が明示。

●当院の稼働実績、収支状況

- ▶病床利用率は、平成23年度で約95%と高い利用率を維持しており、入院・外来患者数、紹介・逆紹介患者数、手術件数、分娩件数等も近年大きな増減無く推移。
- ▶平成23年度決算見込みでは、経常収支比率98.4%と近年で最も良好。
- ▶今後、病院設備の大規模な改修や医療機器、医療情報システムの更新など多額の投資を要する機会は増加する見通し。

3. 当院の担うべき医療等

- *救急医療→救急告示病院として救急受け入れ体制の充実、他医療機関・消防隊と連携
- *小児・周産期医療→地域周産期母子医療センターとしてハイリスク妊娠などにも対応
- *がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病→地域がん診療連携拠点病院としての役割等
- *感染症医療→第二種感染症指定医療機関として感染症医療を担う体制確保、啓発活動
- *災害医療→豊中市地域防災計画に対応、ハード・ソフト両面での緊急対応の整備推進

4. 取り組み計画

(1) 医療の質の向上

- ①高度・専門医療の提供
- ②医療の安全・安心の向上
- ③情報化の推進と職員教育の徹底
- ④医師及び看護職員の業務負担軽減

(2) 患者サービスの向上

- ①接遇の向上
- ②待ち時間対策
- ③院内環境の整備・充実
- ④地域への貢献

(3) 医療連携の推進

- ①地域における医療機関との連携
- ②近隣の自治体立病院との連携
- ③特定機能病院との連携

(4) 経営基盤の確立

- ①収益の確保
- ②費用の抑制・軽減
- ③運営管理体制の構築

5. 計画の目標設定

◆計画に沿った病院運営を行っていくにあたり、年度ごとの実施計画（アクションプラン）を策定し可能な限り数値目標設定を行い、全職員が一丸となって取り組みを進めていきます。

■医療の質の向上（医療の提供）

項目	平成23年度	平成29年度
病床利用率	95.0%	95.0%
平均在院日数	12.4日	13日以内
外来患者数(1日平均)	1,266人	1,300人
救急車搬送受入数	5,023人	5,300人
救急科からの入院患者数	4,487人	4,600人

■患者サービスの向上

項目	平成23年度	平成29年度
【外来患者】患者満足度調査、満足しているとの回答	84.7%	前回調査を上回る
【入院患者】患者満足度調査、満足しているとの回答	95.2%	

■医療連携の推進

項目	平成23年度	平成29年度
地域医療支援病院紹介率	56.6%	60.0%
地域医療支援病院逆紹介率	67.4%	70.0%
登録医療機関契約率(内科)	75.1%	80.0%
登録医療機関契約率(歯科)	64.0%	70.0%

■経営基盤の確立

項目	平成23年度	平成29年度
経常収支比率	98.4%	100%
入院診療単価	54,940円	58,000円
外来診療単価	12,939円	14,000円